



SEIKITOKYU
KOGYO

●遮熱ゴムチップ舗装

アーバンタフコート STクール

URBAN TOUGH COURT ST-COOL



「アーバンタフコート STクール」は、太陽光エネルギー中の近赤外線及び可視光線を反射する「遮熱材」を練りこんだカラーゴムチップと特殊ウレタン樹脂で構成された遮熱型舗装材を使用しています。舗装体が吸収する熱エネルギーを減少させることで、夏季の舗装体の温度上昇を抑制し、蓄熱量を低減させることができます。また、従来からのゴムチップ舗装の特長であるクッション性、透水性も兼ね備えており、人にも、環境にもやさしい舗装技術です。

特長

●近赤外線等を反射して熱を溜めこまない遮熱材を、舗装材に活用

従来のゴムチップ舗装材は、熱エネルギーを吸収しやすいという性質のため、夏季には表面温度が70℃以上にも達することがあります。「アーバンタフコート STクール」は、近赤外線等を反射して舗装体に熱を溜めこまない「遮熱材」が練り込んである特殊な舗装材を使用しています。

●最大-8℃の路面低減効果

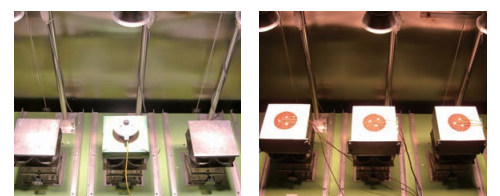
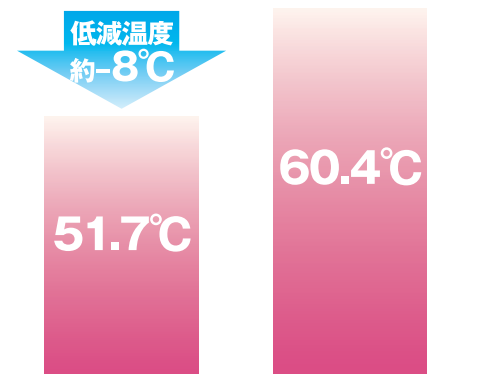
第三者機関による「遮熱性舗装の路面低減温度測定」では、従来のゴムチップと比べ、平均して約-8℃も路面表面温度が低くなるという結果が得られました。また、従来のゴムチップ舗装を施した場所に上から覆うことでも効果が得られます。

●確かな品質と信頼の国内生産

「アーバンタフコート STクール」に使用している遮熱材を練り込んだゴムチップは、すべて国内で生産されており、確かな品質と信頼性で高い評価を得ています。

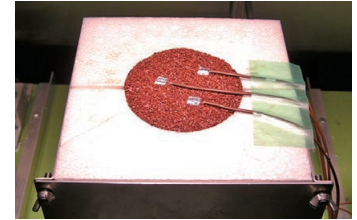
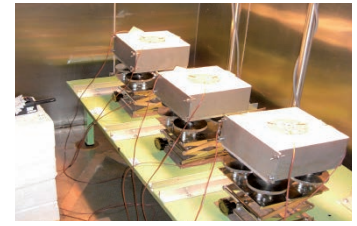
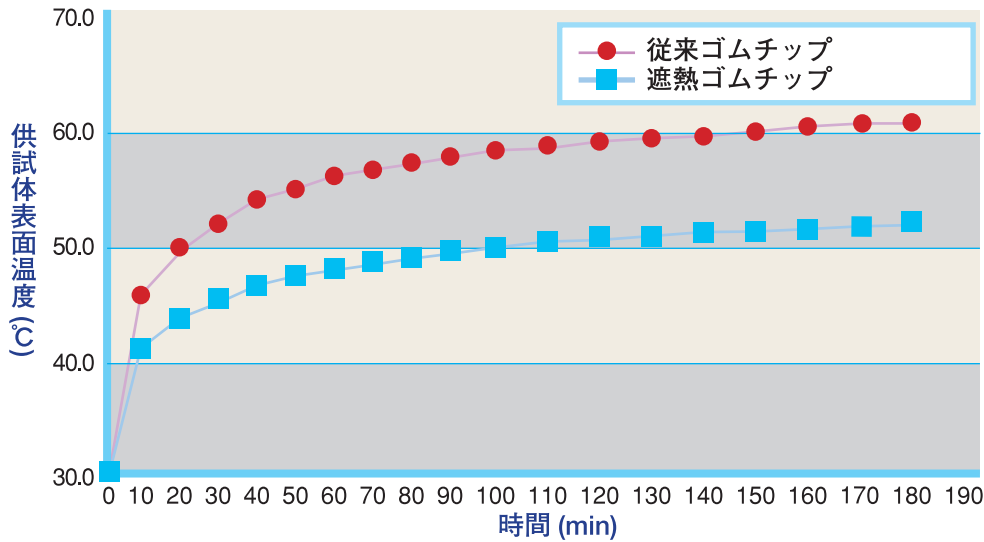
照射180分後の供試体表面温度【例】

■遮熱ゴムチップ ■従来ゴムチップ



路面低減温度測定 照射状況

遮熱性舗装の路面低減温度測定



備考：遮熱性舗装の室内照射による路面低減温度の測定方法
(一般社団法人 日本道路建設業協会)

活用の幅が広がるカラーバリエーション



幅広い適用箇所

ジョギングコース／公園園路／ゴルフ場歩径路／幼稚園・保育園の園庭(テラス)、遊具周り／スポーツ施設(テニス、バスケット)／学校の校庭、屋上／介護施設、病院等の歩行路／歩道橋／プールサイド



EPDMゴムチップ物性値 (弊社基準値)

試験項目	規格値	測定値	試験条件
比重	1.30±0.1	1.30	JIS-K-6220
硬度 (デュロA)	65±5	64	JIS-K-6253
伸び (%)	300以上	350	JIS-K-6251
引張強度 (Mpa)	6.0以上	6.56	JIS-K-6251



世紀東急工業株式会社

URL : <http://www.seikitokyo.co.jp>

本社環境・景観部 東京都港区芝公園2-9-3 〒105-8509